

自主臨床研究

臨床神経グループ

小児期発症のてんかんにおけるてんかん治療に関する研究

研究の対象

2000年1月から2024年12月に当院小児科でてんかん治療（抗てんかん薬、外科的治療、食事療法など）を受けられた方

研究目的・方法

てんかん治療の第一選択は、抗てんかん薬ですが、抗てんかん薬に抵抗性を示す場合にてんかん外科治療や食事療法が有効なことがあります。小児期発症のてんかんは病因や発症時期が様々なため、それぞれの治療における発作予後や発達予後についてデータが十分に蓄積されていません。今回は、小児期発症のてんかん患者さんのてんかん治療の有効性、発達や認知機能について横断的に検討することを目的としました。

研究期間は研究機関の長の許可日 ～ 西暦2024年 12月 31日です。

方法：小児期発症のてんかん患者さんの治療歴や検査結果を診療録より収集し、発作予後や発達予後について後方視的に検討します。

研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、てんかんの治療歴、脳波・脳磁図、MRIなどの画像検査結果、発達検査や認知機能検査結果等

プライバシーの保護

本研究で得られた個人情報について、研究以外に使用することはありません。学会や論文で報告する場合には、個人が特定できないようにし、プライバシーが侵害されることは決してありません。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学大学院医学研究科小児科学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

TEL 06-6879-3932

下野 九理子（研究責任者）